

## 環境部会

### 知的・身体障害者施設

#### 「いかり共同作業所」支援活動

ケナフの会 生6 佐藤 昭三、  
生6 森 佳代子

社会福祉法人「いかり共同作業所」は知的・身体障害者に働く喜び、自立をサポ-トする共同作業施設として平成13年設立され、現在約25名の障害者が在籍し、2・3名の職員と地域ボランティア・障害者家族等の支援により、授産活動(牛乳パック利用のはがき・名刺の紙漉き、押し花作り、アクリルたわし・竹炭グッズ作り等)、地域活動(公園・マンション掃除、アルミ缶回収、交流会)等を行っている。グループわに平成16年6月いかり共同作業所から紙漉きの指導・支援の依頼があった。グループわの中でケナフの紙漉き活動を行っている「ケナフの会」に、わ本部から支援依頼があり、ケナフの会の7名(男子2名、女子5名)が支援を始め、3年余を経過している。最初の2年間は紙漉き支援(技術指導と牛乳パックよりのパルプ作り等)を月2回行って来た。紙漉きが軌道に乗り、又、いかりより押し花作



紙漉き支援状況

りも手伝って欲しいとの要望があり、1年前からは月1回のペースで紙漉きと押し花作り支援を隔月毎に行っている。去る8月「社会福祉法人いかり後援会」総会があり、我々も招待され、出席した。

後援会長・関係者よりグループわのボランティア活動に深い感謝と評価があった。いかり共同作業所は、現在、地域の協力により4階建ての新施設の建設が来年4月完成を目指して進められている。完成すると、障害者を約40名受け入れられるようになる。グループわに継続的な支援依頼があります。我々は6・7期生で、体力的にもきつくなってきています。新しい方のご参加を是非お願い致します。

以上

## 文化部会

### KSC 男声合唱団演奏会

実行委員長 音-8 小阪 芳弘

私共 KSC 男声合唱団はお陰さまで創立7周年を迎えました。日頃の練習の成果を、神戸市シルバ-カレッジの各種の催しで発表し、市内の各種の高齢者や医療施設での友愛慰問演奏、また他の音楽団体との合同演奏会の場で広く皆様に聴いて頂いてまいりました。

この度、お世話になりご支援を頂いた皆様方に感謝し、下記のとおり第2回演奏会を開催することになりました。

目下、私共は団員一同この演奏会に向けて全力で練習と準備に励んでおります。

ご多忙とは存じますが、皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。

日時 平成20年2月23日(土)

開場 13:30 開演 14:00

場所 東灘区民センター

「うはらホール」

(JR住吉駅 南東すぐ)

入場は無料ですが、入場整理券が必要で

なお、お問い合わせその他は下記までお願い申し上げます

在間義博(団代表)

Tel/Fax 078-791-6048

E-mail: icg15942 @ nifty.com

### 会員のアンケート調査の集計結果について

副理事長 上田 市夫

グループわは昨年10月、全会員を対象にボランティア活動に関するアンケート調査を(財)神戸都市問題研究所と連携して行いました。その概要については、さきの「情報ぎやらりー第37号」(H19年1月発行)でご紹介しましたが、さきごろ同研究所によって「ボランティア活動に関する報告書」として纏められ、内容は、調査データの集計のほか、貴重な提案も含まれております。

このアンケートについては、昨年7月発行の情報ぎやらりー第35号に調査票を同封(返信用封筒つき)して回答をお願いしたのですが、全会員1,050名(当時)のうちの531名から回答(回答率50.5%)をいただきました。この低い回答率は、ボランティア活動に携わるわ会員の実態と意識を調査してボランティアの問題点を探ろうとする、アンケート調査の趣旨を充分にご理解いただけなかった結果ではないかと思っております。この調査結果は、今後のわの運営の参考にさせていただきます。

この“わ”会員対象アンケート「ボランティア活動に関する報告書」について、各部会、区会等で資料としてご覧になりたい方はわ本部にお申出ください。



10周年記念式典で合唱